

発行所  
相馬市中村字桜ヶ丘71  
(株)相双法人会  
発行人  
会長 酒井 利 治  
編集  
広報委員会  
発行月日  
平成 9 年 2 月 25 日

支部自慢コーナー

④ 飯館村

すずわ  
鈴倭人形美術館

毎号の表紙は、各支部の自慢の風景・祭り・ながめ等を載せご紹介いたします。



飯館村の村民の森「あいの沢」の入口に、茅葺き屋根の民家を復元した「民家園」がありますが、その建物を利用して「鈴倭人形美術館」が開設され、人形師の鈴倭のり子先生を館主として開館されています。来館者から好評を得ています。普通「和紙人形」というと小さなものを想像しがちですが、『鈴倭人形』は1mを超える程の大きさと自由自在に創造できる型破りな和紙人形なのです。その秘密は、日本の代表的な人形師の高濱かの子先生が考案された「紙桐塑」を和紙人形に初めて取り入れたことにあります。そして、しなやかで柔らかな肌合を表現する「胡粉」も独自に生み出し、人形の大切な命を支えているのです。さらに、柿渋や漆を塗り上げることで、力強い躍動感と生命力を醸し出しております。人形に彩りを添える着物には、あらゆる和紙等を使用し、作品によっては染色、手描きを致しております。

鈴倭人形美術館は日本で初めて、唯一の和紙人形美術館です。伝統的な美しい和紙と、魅惑的な人形をご覧になって頂きたいと思えます。

新春のごあいさつ

地域変革の旗手としての自覚を

社団法人 相双法人会

会長 酒井利治



洋の彼方に横たう瑞雲より出づる目映い新年の陽は、今年の景気を思わせるばかりでしたが、会員の皆様にはお健やかにお越しのことと思われま

我が相双は、年末に常磐自動車道の延伸が決定、小高と浪江では念願の東北電力原子力発電所設置に伴う用地見通しがついたこと、広野と楢葉にまたがるJビレッジのオープン等の大型プロジェクトが脈々として、洋々たる光景に見えがちではありますが、労働時間の短縮、過疎化の増大、円安、株安、特殊法人改革、行・財政改革、消費税率の引き上げや老人医療保険と高齢者対策を中心に国の内外の諸状況を考える時、我ら中小企

業者にとって非常に厳しい今年の幕明けとなったように思います。

また、新聞、マスコミでは二十世紀を目前にひかえながらも、過去の「ツケ」によって社会は今や右上がりから右下がりへ、不透明・混濁感を強めながら大きく変わる論じておりますが、このような新時代においてこそ、日本の社会を支える法人企業の集まりであります「法人会」の果たすべき役割と責任は、大なるものがあります。

ご承知のように、法人会の基本指針は「良き経営者をめざす者の団体」として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業及び社会の健全な発展に貢献することにあります。

私は、早川涌吉前会長より、この職を引き継いで以来、「企業は人なり」として後継者育成、女性部会の活蘭化を最重点と考え、各支部と各委員会活動を中心に運営

を進めてまいりました。それぞれの目的を十二分に確認しながら、新しい世界へと向かう、こうした変革期の中にあって、地域革新の旗手であることを自覚し、地域の夢をつくり育てるべく、時代にマッチした内部組織を再構築するため、この春から「組織検討委員会」も設立されたところでございます。

最後に、今年是全国法人会連合会が主提唱しております「社会貢献活動」をどう推進していくべきか、具体的な手法を明示し、行動を起こして社会の皆様からいろいろ評価を得る年です。

また青年部会においては、当会の只野裕一部会長が県連の会長としてその職にあたることとなり、その新体制の下、相双地区においては初の県連会員大会を主管し、運営する年でもありますから、会員皆様のより一層のご協力とご支援を心からお願いして、新年のご挨拶と致します。

本年もよろしく  
お願い致します

常任理事

理事

- 阿部 多一
- 渡部 悦孝
- 庄司 公正
- 江井 貞巳
- 泉田 隆之
- 作山 博之
- 根本 充春
- 藤沢 徳義
- 角田 義正
- 濱田 幸政
- 亀谷 伸顕
- 立谷 幸雄
- 荒井 宏美
- 谷津 倫幸
- 佐藤 信夫
- 遠藤 勝明
- 早川 宗延
- 只野 裕一
- 立谷 一郎
- 荒谷 一夫
- 竹林 綱夫
- 星源 綱夫





ごあいさつ

相馬税務署長 奥山 修

新年明けましておめでとうございます。本年も職員一同よろしくお願致します。

法人会会員の皆様には、日頃から税務行政のよき理解者としてご協力頂き、深く感謝致しております。また、活発な法人会活動に対し敬服致しております。

さて、今年は丑年です。牛は、その体型や動作から動きが鈍いなどあまり良いイメージはありませんが、十二支の中では「神様の使者」とのことであり、今年は何かよい年になりそうな予感が致します。また、牛はスピードはないものの、一步一步大地を踏み締めて確実に前進することから、今年は焦る気持ちを抑え、足下から固めることも大切かと思えます。

早いもので、私も昨年7月に着任し半年が過ぎました。相馬税務署の勤務は初めてでありましたが、福島県内の勤務は過去に3度経験していることや、心温かい法人会

の皆様のお陰でふるさとに帰ったような思いもあり、皆様とはスムーズにお付き合いできたのではないかと思っております。

相馬税務署は、南北に細長い管内の北に位置しており、浪江以南の皆様には特にご不便をおかけしていることと思えます。しかし、相双法人会はその広範囲な地理的ハンデをもとめせず、積極的な活動と組織拡大を図っているほか、地域奉仕活動をも計画中とのことであり、そのバイタリティーには謹んで敬意を表する次第であります。

また、今年には青年部の大会を当相双法人会が主管されるとのお話も伺っており、お忙しい一年になるのではないのでしょうか。

さて、最近の経済情勢は、緩やかながらも確実に回復しつつあるとの報道がされておりますが、株価の低迷、円安等あまりよい材料は見られません。

福島県全体の景気動向は、昨年に比べやや上向きの傾向にあるようですが、当相馬税務署管内全体の経済状況は、必ずしも上向きとは断定できません。

しかし、すべての業種、すべての法人が不況という訳ではなく、中には業績を伸ばしている法人も見受けられます。

これは将来的に明るい兆しであり、各法人とも工夫を凝らし、消費者のニーズに合った営業方針を採るなど、一日も早い不況からの脱出を願っております。

私ども税務署は、課税の公平を目標として、正直者が損をするのではないように様々な業務を遂行しているところです。しかし、これは皆様のご理解とご協力がなければ達成することは出来ません。

この点において、法人会の活動は、私どもにとって何よりも心強く、感謝しているところであり、今年も昨年以上によりしくお願致します。

最後になりましたが、法人会の益々のご発展と、会員の皆様のご健康ご繁栄を祈念致しまして新年のごあいさつといたします。

監	事	理
長谷川誠三	鈴木嘉重	猪狩嘉一
河原百	関本甫	石川昭久
石黒克己	石岡紀昭	名嘉幸照
神谷直隆	林菊治	田巻照郎
植田俊一	木幡隆	松原恭治
岡崎正男	志賀美津江	塩谷洋子
渋谷京市	斎藤修	遠藤博人
伊藤隆助	高橋隆	高橋啓
佐川建夫	関場啓	高野建夫

## 10支部長 新年の抱負



相馬支部長  
桜井 文博

皆様明けましておめでとうございます。昨年中は、役員及び会員の皆様には何かとご指導ご支援を賜りありがとうございました。紙面をお借りしまして感謝申し上げます。

新しい年を迎えまして、昨年に引き続き相双法人会活性化のために、酒井会長を中心に、私自身も心を新たにして各事業に取り組んでまいりたいと思っております。特に、今年役員改選期にあたりまして、

昨年中は、昨年から懸案事項でありました組織の見直しを酒井会長よりご指示があり、現在組織検討委員会を設置して、泉田委員長を中心に素案取りまとめをしている最中でございます。酒井会長が常々、委員会の活発な活動が法人会の活性化につながると思っております。それを実現するために現状に即応し得る風通しのよい役員会及び委員会にすべく、

出来るだけ早く原案を作成して理事会及び総会に提出致しますので、皆様方のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

さて、相馬支部において昨年はゴルフ大会、健康セミナーを会員皆様のご参加を頂き実施しました。さらに、2月頃に研修会等の事業を企画しておりますので、多数の参加を期待しております。会員数も順調に増えておりますが、目標値にはあとひと頑張りと思っております。更なる皆様のご協力をお願い致します。

いづれに致しましても「よき経営者をめざす者の団体」の法人会です。私自身もその趣旨に乗っ取った企業活動を今年も行っていくたいと思っております。



鹿島支部長  
菅野 俊夫

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年を振り返ってみますと、大蔵省・厚生省等の官官接待、小選挙区制といった様々なる矛盾、怒り、戸惑い等不信感ばかり漂わせるような一年であったと思えます。加えて中小企業を取り巻く環境は、過疎化の進行、産業の空洞

化、規制緩和による競争激化及び労働時間の短縮問題等、大きな構造変化に攻められている状況にあります。しかし、一部では住宅建設、設備投資等に明るい動きが見られるものの、回復の足取りは緩やかであり、失業率も高水準で推移し、企業倒産の発生も予断を許さない依然厳しいものがあります。

そんな中で、私も鹿島支部としての役割も、大きな組織の力で社会に「よき経営者をめざす者の団体」として社会に貢献すべく、調和の取れた諸活動の強化を図りたいと考えております。

会員のニーズに合った講習会、研修会、交流会等、個々の企業では成し得ないものを、再度組織の力を活用し、問題を解決し、地域経済の発展に寄与して参りたいと思っております。会員皆様の更なるご理解とご協力をお願い致します。



原町支部長  
松 永輝彦

今年、景気の先行きには悲観的という中小企業が急増する中で迎えた新年となりました。

今わが国は、明治維新にも匹敵するほどの大改革が、もはや避け

ては通れないという国家的危機とも言うべき事態となっております。

中でも金融改革については、「金融ビッグバン」の言葉で表現されるなど、その変革は質的にも極めて大きなものになることが予想されます。そしてその影響は、税制の面で特に大きなものとなり、近い将来に今までの改革とは異なる大税制改革となるかもしれません。

現在の諸改革の一環である規制緩和、自由化ということは、私たちの生活や法人活動が便利となり、手続きなども簡単になる一方、その分だけ責任が増すということ、これがわが国の真の先進国、国際国家への途であります。地域で活動する法人会としても、時代を認識し、方向を誤らぬよう、会員お互いの幸せのため努力していきたいと思っております。



小高支部長  
菅野 萬正

1996年も終わりました。クロクロー苦労の年でした。規制緩和、価格破壊、市況悪化、激安採算悪化、これらの言葉はいずれも不況を代表する言葉ばかりです。苦労の年よさようなら、今日は97

年、苦無(クナシ)の年。

苦あれば楽ありと申します。今年はずっとよい年になります。但し、努力しないとよい年にはなりません。今年には体力のある者だけが勝ち残る年となる。店に会社で充分な体力を養って、生き残っていききたい。それには、次の5つの点を実行していきたいと思えます。

一、客にとって有益かどうかの評価を最優先とする。  
二、一人一人の客に心から満足して帰って頂くよう努力する。  
三、大事なことは面倒がらずに優先する。

四、しなければならぬことは疲れていてもやり抜く。

五、やる以上は確実にやり抜く。  
既に年改まって平成9年になりました。9という数字は、ゴルフで最終コースでございます。全ての事業を完成させる年でもあります。健全な経営を目指して、来るべき21世紀に生き残っていききたいと思えます。



浪江支部長  
熊川 喜八郎

相双法人会も社団化して満20歳を過ぎました。しかし、会員強化

をと未加入の会員の方々にお願いに行きますと、いまだに「メリックトは?」「法人会って何をしていますか?」と聞かれます。何故な

もっともだと思えます。何故なら、一部の会員を除く多くの会員の中には、法人会って何をし、どのような目的を持って活動しているのか理解していない会員も見受けられるからです。

例えば警察署関係では、交通安全協会とか防犯協会等においては具体的な活動をしているので、会員はもとより一般の人々にも容易に理解できますが、本会の場合はそうもいきません。

年頭にあたり、今年は活動の内容充実はもちろんですが、それをもっと広報活動等PRし、会員の方々にももっと理解して頂き参加してもらえらる会にすれば、未加入法人の方々にも関心を持っていただき、仲間も多くなれば活動も…、と思ひ頑張りたいたいと思えます。



双葉支部長  
松本 定雄

'97新年おめでとうございます。現在、景気は緩やかに上向いてい

るとのことですが、私たちが取り巻く経済環境は大変厳しいものがあります。しかしながら当地方は、常磐高速道が相馬まで整備路線として格上げされたこと、当町に予定されている東電第一原発増設の環境アセスメントも終了し、増設に向けて大きく第一歩を踏み出したこと、さらにJビレッジのオープンも7月に迫るなど、明るいニュースもいっぱいあります。私たちはこれらを大きな起爆剤として、地域の活性化に取り組んでいきたいと考えております。

さて、法人会は『よき経営者をめざす者の団体』であるとの基本的な指針がありますが、最も大切なことの一つに支部組織の充実があげられると思えます。よく、法人会に入ってもメリックがないと言う方もおりますが、少なくとも支部で魅力ある事業を展開し、それに参加されていたら、そんな疑問は払拭されるものと信じます。

当双葉支部は、今年も各種事業を計画し、活発な活動を展開して参りたいと考えております。会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



大熊支部長  
千葉 公平

新年明けましておめでとうございませう。昨年は何かとご指導を賜りありがとうございました。

前年度は緩やかながら景気の上昇があるやにみられました。内共長に長びく不況による経済の不安定を、規制緩和などで工夫は見受けられたものの、公共事業の規模などから見て浮揚効果は小さいなど、厳しい現状であろうかと思われませう。そして個人消費の伸びの低さ、猫の目政界、官官、金融制度等様々な状況下にある今日、そんな中で法人会の役割は、大きな組織の力を社会に貢献すべく、認識を更に新たにするものであります。

さて、当支部における現状は、組織率が最低で誠に遺憾に存じております。前会長より平成7年の中盤より職務代行としてお引受けをいたし、昨年の8月に懸案でありました総会を開き、支部長を仰せつかり現在に至っております。微力ではありますが、役職会員一同のご協力を得ながら、今年『牛』、一步一步焦らず社会情勢を

見極めつつ、実りのある組織拡充を計って参る所存であります。

最後に、会員皆様の益々のご繁栄をご祈念申し上げます。



富岡支部長  
坂本良二

新年明けましておめでとうございます。皆様方には益々ご壮健にて初春をお迎えされたことと存じます。昨年は会員皆様方から大変ご協力を頂きました。厚くお礼申し上げます。

平成9年、日本経済政策は大きく変わってくると思えます。特に昨年、今年とかけて円安が続いており、余り円安が続くと大変、輸出入の問題、商品の停滞、物価の下落、生活難等の問題が出てくるように思えます。また、4月より消費税、老人医療保険の値上げ等、国民は大変なことと思います。世の中の経済は好景気時代(賑富・驕慢・豪奮)、不景気時代(暴落・逼塞・困窮)、発奮時代(発奮・勤労・蓄積・節約)、今年が発奮の時代です。

会員の皆さん、どうぞ発奮して会員増強に、大型保障制度の推進にご協力をお願い申し上げます。



新地支部長  
渡部昭三

新年のお慶びを申し上げます。今年もまた宜しくお願い致します。新地支部ができて早5年になります。当町の法人数も101社を超え、法人会としましても75%台に向け役員皆で努力中です。

当会の活動は他の団体と違う面があり、積極的な加入は少し難しいようです。組織の意義をよく説明して入会して頂くことが大事であると思えます。どんな会もそうですが、毎日の活動の中から、共に組織の在り方を考えながら進んでいきたいと思えます。

法人会は、自己の会社の繁栄を願う経営者の集まりであり、皆さんと共に自社の繁栄と適正な納税への意識の効用を願わずには入られません。

本年は、年頭から世界的にいろいろな面で大変な年になりそうです。この急変する流れにある相双地方の商工業者も、ともすれば押し流され状態になる様な気も致します。この波にのまれない様に、共に助け合ってこの一年を過ごしていきたいと思っております。



飯館支部長  
高橋英明

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

早いもので平成6年の12月2日、原町支部の心暖まるご協力があり、当飯館支部設立総会が開催されました。26社での船出でしたが、本部の会員増強運動と相まった当支部役員の方々の働きにより、現在8社増の34社となりました。当支部内の法人は61社で、その内訳はというと、労働力は村内、経理関係は村外という会社はかなりあり、会員の勧誘も容易ではない状況にあります。

このような中ですが、当支部内の現況をよく見詰め、当初の計画どおり消費税の講習会、研修旅行、会員の増強と順次実施していきたくと考えております。また、本部への協力体制づくりも考えていきますので、宜しくお願い致します。

最後になりますが、会員皆様方のご健康とご繁栄をご祈念申し上げます。年頭の言葉と致します。

## 税務署だより

### 税務署よりのお願い

一、確定申告は電車やバスで

皆様方ご存知のとおり、相馬税務署の駐車スペースは非常に少なく、ご不便をおかけしております。近くには駐車場が少ないことから道路上に車が並び、非常に危険な状況です。

確定申告時は、極力電車やバスをご利用願います。

二、消費税率が変わります

平成9年4月1日から、消費税率が現行3%より5%に改正されます。

但し、増加した2%のうち半分は、県・市・町・村に入る地方消費税です。

また、混乱を防止する見地から、当分の間、申告・納付および相談などは、全て税務署へお願い致します。



## 部会長 新年の抱負



青年部会長  
只野 裕一

今年は何年かで、4回目の丑年を迎えました。我が家の風習で、大晦日と元日は全員揃って、決まった料理を前にして盃で祝って過ごすことになっています。大晦日は、鮭を焼いたものと、鰯の煮付けが必ず定番であり、子供が赤ん坊で箸をつけないと分かっているにも関わらずつづけたものです。季節感がなくなってきた、伝統や風習がなおざりにされている今、まず自分の家に伝えられていることを守っていくことを強く思いました。

さて、県内で一番先に青年部会が発会したのが我が相双法人会であり、今年で10年目を数えるに至りました。加えて、青年部会の県大会が5回目となりますが、相双地区の主管で開催される運びとなっています。県内の会員諸兄に当地区に足を運んでもらい、法人会の意義と存在を示す絶好の機会があります。



「税を知る週間」青年・女性部会・税務署幹部座談会

皆様のご指導とお力添えで楽しく喜ばれる大会にしたいと思えます。力を結集し盛会に！



女性部会長  
洪佐 洋子

'97年の新春は、行財政改革や規制緩和など、大変革の年と覚悟も新たに迎えられたことと存じます。企業において責任ある立場の女性部会員の皆様には、この大変革時代を独得のサービス精神と、どんな試練にも屈せず乗り越えるたくましい精神力で自己研鑽に励み、

共に手をとり活力ある企業と社会の発展を目指して前進しようではありませんか!!

'97相双法人会女性部会重点目標は、

- 一、税を知る研修会・経営勉強会
  - 二、社会貢献活動への全会員協力
- 部会と共に本年度女性部会の最重要活動とし、女性部会全員のご協力をお願いします。まだ企画の段階ですが、栃東関はじめ部屋の皆さんをゲストに、チビッ子相撲大会、チャンコ大鍋チャリティ大会の予定とのことで、この素晴らしい企画に女性部会も力を発揮して、包丁片手に得意の炊き出しワザをお目につけて、楽しく社会貢献活動ができれば幸甚と存じます。
- 本年も女性部会の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げますと共に、特段のご協力をお願い申し上げます。

## ご挨拶



大同生命原町営業所  
所長 山田 省二

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、法人会の各種福利厚生制度の推進につきましてご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

法人会の「経営者大型総合保障制度」は、法人会独自の制度として昭和46年に発足し、以来25年間、社会情勢の変遷に対応して逐次保障内容の改定など企業に最も適した状態にモデルチェンジし、会員企業の防衛に大きな役割を果たしてきました。そして、平成9年1月より、保険料を安く抑えたエコノミータイプ「企業保障プラン5（ファイブ）」（5年ごと利差配当付定期保険）を発売し、会員企業のニーズに的確に応えられる体制を作っております。

本年も社会貢献活動、青年部会県大会の相双地区での開催等、いろいろな会活動が行われる予定かと存じますが、会員企業の皆様の更なるご発展を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 佐須山津見神社と

## 「作見の井戸」

### ― 飯館支部 ―

飯館村は阿武隈山系の北部の高原に開かれた村で、生活基盤は標高220mから600mに分散し、総面積の約75%を山林が占めています。村の特産品としては、飯館牛をはじめ、飯館牛の加工品、御影石、おこし酒、高原野菜などがあります。

今回は飯館支部より、飯館村で最も古い歴史をもつ佐須山津見に鎮座する「山津見神社」と、米の豊作・凶作を占う井戸として知られている「作見の井戸」についてご紹介いたします。

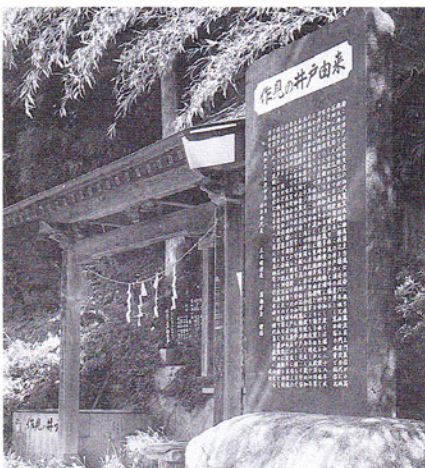
### ■ 虎捕山山津見神社



夜おそくまで賑わう  
佐須山津見神社例祭



山津見神社



作見の井戸

山津見神社は、平安時代後期、源頼義が南向したおり、人々に害をなしていた凶賊橋墨虎の退治を山神のお告げによって成し遂げたことから奉ったのが縁起とされ、

東北地方の山神の総本山的存在となつています。また、山津見神社は飯館村で一番古い歴史をもつ神社で、春秋2回の例祭には福島県内、宮城県はもとより遠くは青森県を含め東北各県より参拝者が訪れます。特に、旧暦10月17日に行われる秋の例祭は「山御講」とも呼ばれ、夜を通して賑わいをみせています。

虎捕山の眷属は白狼で、墨虎を捕らえたことからその山を虎捕山と呼び、墨虎を刺した所はサス(佐須)という地名がつけられた

### ■ 作見の井戸

ということですが。

この井戸は霊元天皇の御代寛文9年、相馬藩主の命により、小高郷の大井村より山中郷深谷村二本木に移り住んだ佐藤庄左衛門義信という方が築いた井戸であり、水の干満の差が著しく、古来より寒の節の水量でその年が豊作か凶作かが予知できるとされています。昭和54年にNHKで放送されるなど、多くの人に知られています。

井戸は深さが3・6m、底は自然石をめぐって造られ、水源は両脇よりの湧水で、水位2・25m位が普通作で、それ以下は不良作、それ以上は良作、満水は極上作とされています。

(作見の井戸保存会資料より)

## 編集後記

K子は、いつも「ゆっくり梅を見に行きたいなあーと思えど、期待するほどのものは相双にはない!! 桜もつつじも富岡町夜ノ森しか知らない。さーて夏、秋、冬の花、木は何だあ!! こへ行きゃいいんだあ」と言う。

K子もその夫も働けばかりで、共通の趣味はなし。55も過ぎたから夫婦で山登りでもすっかなあーと、当会の理事に話をしたら、その理事曰く「相双にだって、二人で登って楽しい山はたくさんあるぞー。汗を流すこと」だと。花も木も山も知る人ぞ知るものなのか。各市町村のPRは如何に!! もっと身近なところに気配りせずして、大きな仕事は出来ねえぞー。

最近、この地区にも新しい温泉の話が7市町村もある。効能・運営の形態・進捗状況はいろいろあれ、やがて、会津地区のように湯めぐり共通券でも発行して、税務当局と法人会会員皆で節税の話に花を咲かせ、裸で心身共にリフレッシュしたいものだ!! 第5号は原町支部。